

# やまきた



議会だより

第177号

平成26年5月1日



新しい制服で輝く笑顔(山北中学校入学式)

## 目次

平成26年度当初予算・第5次総合計画を審議	2
当初予算を審査(常任委員会報告)	6
一般質問	11
生きいきひろば	20

# (3月4日~3月17日) ・第5次総合計画

平成26年第1回定例会を3月4日から17日まで開催した。

主な議題は当初予算、条例、補正予算、人事など42件を審議した。一般質問に立った議員は8人で、13項目の質問があった。

(一般質問は11ページから19ページに掲載)

## ■ 専決処分 ■

### 大雪による除雪費用等

# 1800万円補正

#### 大雨時のJR運行

**渡辺議員** 今回の大雪でJRは山北まで運行した。今後、大雨時も山北まで運行できるような働きかけは。

**町長** 運行条件について再考を依頼したが、雨の場合雨量が既定量に達すると、松田で止まる決まりとなっていて難しい。

#### 破損した鹿柵等補助

**府川議員** 破損した鹿柵などへの、国補助に対する今



久しぶりの大雪でビックリ

後の町の対策は。  
**環境農林課長** 被害者が国の支援を受けられるよう町で対応する。

## ■ 総合計画 ■

### 進行管理の評価

**府川議員** 進行管理の評価方法や発表の予定は。ローリング内容の公開は。

**企画財政課長** 進行管理については毎年ローリングを行い、翌年度の予算に反映している。ローリング結果について金額を公開するのは難しいが、実現した項目の公表はできる。

### 町民参加の推進

**原議員** 町民参加のプロジェクトを作って、町民の意見を聞きながら総合計画の推進を。

**町長** 町民の意見を聞きながら、

がら、町民と一緒に町づくりをする。

### 新東名との関わり

**小栗議員** 基本構想の土地利用の中に、新東名との関わりを入れては。

**政策秘書課長** 第3次土地利用計画に位置付けるため基本構想へ具体的な名称は入れない。

## ■ 当初予算 ■

【一般会計】

### 通学路の安全・安心

**藤原議員** 山北駅北側定住促進住宅の東側町道沿いに開渠が一部分残っている。

**都市整備課長** 道路の路肩部分は改修した。通学路については、要望も出ており関係課で調整している。  
**町長** 通学路の安全を最優先に進める。

### オレオレ詐欺対策



**府川議員** オレオレ詐欺に対する危機管理予算を。  
**総務防災課長** あらゆる機会にチラシ等の配布や指導をしている。状況により町独自でも対応する。

### パークゴルフの利用

**原議員** パークゴルフ場の利用者を増やす施策は。  
**町長** いろいろな大会の企画や、各種団体に案内をし、利用者増を図る。

81億円

# 平成26年 第1回定例会 平成26年度当初予算

## 資源ごみの収入

**鈴木議員** ペットボトルの売却代金は、**環境農林課長** 140万円ほどを見込んでいます。



大事な資源だよ

## 急傾斜地の対策

**石田議員** 急傾斜地崩壊防止事業は、地区要望に基づき、町が危険箇所を調査し、工事を進めるのか。**総務防災課長** 危険箇所を精査して、担当課等と調整する。

## 〔特別会計〕

### 国民健康保険の運用

**渡辺議員** 都道府県の単位化は、予定通り進んでいるのか。

**保険健康課長** 国保の財政運営は都道府県に、保険料の賦課・徴収等は市町村にと方向性が示され、移管時期は、29年度と決定している。

**瀬戸(憲)議員** 国保データベースシステムは、いつから運用開始されるのか。**保険健康課長** 平成26年6月から稼働予定である。

**川村議員** 広域化支援金1億円の償還終了時期は。**保険健康課長** 最終は平成32年度である。

## ■ 条例改正 ■

### 社会教育委員の定数

**渡辺議員** 第3次地方分権改革一括法では、定数減は決まっていない。**生涯学習課長** 学校統廃合

の関係等、実情に合わせて定員の削減を提案した。

**瀬戸(顯)議員** 町のいろいろな諮問に携わる方々の顔ぶれが、同じようなメンバー構成で、広く意見が吸収できない傾向にある。人数を減らさず、多くの方に参画していただく必要があるのでは。

**生涯学習課長** 人数は減るが、地域の実情を踏まえて委員選出の検討をする。

## 教職員住宅の見直し

**渡辺議員** 学校統廃合による、教職員住宅の見直しは。

## 学校教育課長 遠くから通

う教職員のために、住める状態を維持しているが、民営住宅を希望する方が多い。平成24年12月から入居希望者がいない状況である。

## ■ 補正予算 ■

平成25年度の3月補正は、一般会計と特別会計の国民健康保険事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、山北・共和・三保財産区、介護保険事業、商品券事業の各事業費確定によるもので、全員賛成で可決した。

## (一般会計)

**小栗議員** 障害者の自立支援給付3556万9000円は、3月末までに執行できるのか。

**福祉課長** 障害者自立支援法の関係事業で、居宅支援グループホーム支援など数多い事業ではあるが、年度内に執行できる。

**川村議員** 3月に財政調整基金を借りなければならぬ理由は、**企画財政課長** 予備費が3000万円ほどあるが、国保会計への繰出しの可能性があるので、予備費に充当する。

**藤原議員** 三保小学校の屋根改修工事は、表面の防水だけで、躯体本体の老朽化に対応しないのか。**学校教育課長** 表面上の屋根部材を変更することが基本である。



取りこわす教職員住宅

(下水道)

### 負担金の精算

**渡辺議員** 酒匂川流域下水道事業管理事業費負担金は、これからも変動があるのか。大口事業者の滞納状況は。

**上下水道課長** 排水量の増減により変化するので、精査し予算計上する。  
滞納は、厳しい状況であるが収納に努力する。

(町設置型浄化槽)

### 設置の推進

**小栗議員** 設置基数が当初予算と比べ、少なくなっているが、町の指導、推進方法は。

**上下水道課長** 整備費、維持管理費は、県に要望を出しており、26年度から県補助金の増額が見込まれるので、事業を見送ることにした。対象地域へパンフレットを配布しているが、思うように推進できていない。



元気に体操 いきいき塾

(介護保険)

### 保険者の把握

**川村議員** 65歳以上の第1号被保険者が増えているが、当初からある程度把握ができるのでは。  
**保険健康課長** 見込みを上回る人数となった。

### 審査対象の推移

**渡辺議員** 介護認定調査の臨時職員賃金が減つたのは、審査対象者が増えていないからか。

**保険健康課長** 介護認定調査員がベテランになり、時間数が減つたため、件数に大きな伸びはない。

### 居宅介護サービス

**石田議員** 居宅介護サービスの1件あたりの単価が

減つたのは、認定が厳しくなり、利用できるサービスが減つたことが原因なのか。  
**保険健康課長** 件数が増えているのに単価が減っているのは、介護度、利用するサービス等の違いで、結果として減つた。  
また、適切なサービスが受けられるよう、利用者に合ったプランを作成している。

### ■ 人 事 ■

#### 〈副町長の選任〉

東利之氏の辞職に伴い、山崎佐俊氏の選任が提案され、全員賛成で同意した。

#### 〈固定資産評価審査委員会委員の選任〉

三尋木昭治氏の選任が提案され、全員賛成で同意した。

#### 〈人権擁護委員の推薦〉

福岡初江氏の任期満了に伴い、引き続き再任の推薦

が提案され、全員賛成で同意した。

#### 〈教育委員会委員の選任〉

瀬戸安美氏は、平成26年3月31日で任期満了となるため、引き続き選任の提案がされ、全員賛成で同意した。

### ■ 選 挙 ■

#### 〈南足柄市山北町開成町一部事務組合議会各議員の選挙〉

一部事務組合議会議員が平成26年5月29日で任期満了となるため、指名推薦の選挙を行った。3名の方が当選人と決定した。

### ■ 報 告 ■

平成26年度山北町土地開発公社事業計画及び予算

### 第一回臨時会

(1月27日～28日開催)

#### 町立生涯学習センター条例

町立中央公民館を廃止し、新たに生涯学習センターを設置するため、管理等に必要な事項を定めたもの。  
※常任委員会の審査報告は、9ページに掲載

#### 〈町道深沢線整備工事請負契約〉

契約金額 5453万7000円  
契約の相手 静和建設(株) (山北町山北代表取締役 田代房男)

#### 〈町道共和清水線整備工事請負契約の変更〉

元請負契約金額6405万円に231万円を増額し、6636万円に契約変更。

#### 〈町道鍛冶屋敷高杉線整備工事請負契約の変更〉

元請負契約金額6772万5000円に412万6500円を増額し、7185万1500円に契約変更。

# 総務環境 常任委員会 審査報告



委員 長	渡辺 良孝
副委員 長	府川 輝夫
委員	川村 俊治
委員	原 憲司
委員	岩本 章治
委員	熊澤 友子
委員	瀬戸恵津子

総務環境常任委員会では、新規条例1案件、一般会計は、政策秘書課、企画財政課、総務防災課、環境農林課、商工観光課、都市整備課、上下水道課、定住対策室、会計課、議会事務局の所管に属する事項について、特別会計は、災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、山北・共和・三保財産区、商品券の各会計の予算について審査し、全員賛成で原案どおり了承した。

## 新規条例

サンライズ山北の

修繕基金

川村委員 基金の積立見込みは。

定住対策室長 年間200から300万円の予定。

熊澤委員 家賃は、国の補助があるのか。

定住対策室長 入居者の所得に応じ、国から町にある。

## 一般会計

サンライズ山北の

使用料

瀬戸(恵)委員 地域優良賃貸住宅共同施設使用料

8万4000円の内容は。

定住対策室長 駐車場や集会施設の使用料である。

## 計画的な財政運営

原委員 地方債は前年度と比較すると7500万円増

加しているの、計画的な財政運営を。

企画財政課長 今後は、総合計画で財政計画を定め、計画的に推進する。

## 橋梁の老朽化対策

渡辺委員 社会資本整備総合交付金の基準は。

都市整備課長 道路橋梁の安全安心対策の基準を満たせば、補助率は55%になる。

## 通学路の安全確保

原委員 仁道地区の通学路の幅は確保されるのか。

総務防災課長 歩道幅75cmの区画線を引く。

## 未登記路線の箇所

岩本委員 未登記路線は。

総務防災課長 湯ノ上農道、河村城址散策道、神縄農道

湯本平農道、川西平山農道などである。

## 町の特産を全国にPR

熊澤委員 ふるさと応援寄付金が増えたが、謝礼品は。

商工観光課長 とれたて山ちゃんの品物、足柄茶、み

かん、キウイ等で、温泉の割引券なども考えている。

## 防犯灯をLEDに交換

熊澤委員 防犯灯が故障した場合、LEDに交換できるのか。

総務防災課長 必要に応じて交換する。

## 個人情報保護審査会

瀬戸(恵)委員 個人情報保護運営審査会は町単独で設置しているのか。

総務防災課長 上郡5町で設置している。

## スマートIC調査予算

府川委員 インターチェンジ実現に向け、調査業務委託料を増額すべきでは。

政策秘書課長 状況に応じて補正予算対応とする。



お茶の香りがする特産品

## 山ビル対策の状況

**原委員** 森林館、ビクターセンターや玄倉地区内の山ビル対策は。  
**環境農林課長** 森林館を中心に駆除作業を行い、自治会にも散布をお願いする。

## オリーブによる活性化

**府川委員** オリーブ栽培の実績と計画は。  
**環境農林課長** 25年度は20人、2500本の実績で、26年度は1500本を予定し、土壌調査や技術指導により、3年後に収穫できるように進める。

## 山北駅前のにぎわい

**川村委員** 実行委員会の構成員とアドバイザーは。  
**商工観光課長** 山北商店振興会、ウッドボイス、ハンドボイス等の山北駅周辺のにぎわいづくりに賛同される方で、アドバイザーは、



夕市でにぎわう商店街

中小企業診断士で、夕市や景観についての意見を聞いている。

## ぐみの木公園の駐車場

**府川委員** ぐみの木公園下流に護岸工事で広い土地が整備されたが、活用は。  
**都市整備課長** 公園の駐車場としての利用を県へ要望している。

## 品川区との交流

**原委員** 品川区との交流事業を積極的に図るべきでは。  
**町長** 積極的に進める。

## 山北ブランド認定審査

**原委員** 山北ブランド推進協議会の内容は。  
**商工観光課長** 8名の委員で23品目のブランド品の審査をしている。

## 空き町営住宅の管理

**熊澤委員** 町営住宅の草刈りは年何回実施するのか。  
**定住対策室長** 基本的には年1回であるが、状況により2回実施する場所もある。

## 町道の拡幅計画

**原委員** 町道掘込宮ノ下線の拡幅計画は。  
**都市整備課長** 県道の入口付近は、地権者の関係から、先に反対側から着手する計画であり、26年度から徐々に拡幅工事を実施して行く。

## 地震と噴火の災害対策

**府川委員** 南海トラフと富士山噴火の一定の研究の方向がだが、災害対策の見直しは。  
**総務防災課長** 国の防災計画の見直しに基づき、町は修正等を諮っていく。

富士山噴火対策は、必要により防災計画に反映する。

## 狭あい道路の拡幅

**渡辺委員** 岸幼稚園付近の狭あい道路の対応は。  
**都市整備課長** 地主からの狭あい道路拡幅整備事業の申請により、セトバック

簡所の舗装工事を実施する。  
**府川委員** セトバックの反対側は拡幅しないのか。  
**都市整備課長** 県道と直角で、危険なため、現時点で拡幅する考えはない。

## 消防広域化から1年

**渡辺委員** 広域消防運営事業負担金が790万円増えているが現状は。  
**総務防災課長** 昨年と比べ予算は増えているが、足柄消防組合の負担金より減っている。広域化により消力力は強化されている。

**瀬戸(恵)委員** 消防詰所の修繕計画は。  
**総務防災課長** 老朽化について町全体の公共施設等を調査しており、緊急性があれば別に対応していく。

## 職員数の適正化

**原委員** 職員数が26年度151名で、年々増えているが、行政改革の取り組みは。  
**総務防災課長** 条例の職員数は160名だが、5%削減の152名である。引き続き削減に努力する。

## 特別会計

## 下水道の普及率アップ

**原委員** 川村用水の断水により、悪臭が発生しているが、下水道の普及率は。  
**上下水道課長** 普及率は83・8%で、広報誌やお知らせ版等で啓発している。

**悪臭指導は、戸別訪問する。**  
**渡辺委員** 向原交差点付近の公共下水道の工事状況は。

また、サンライズ東山北の接続は。  
**上下水道課長** 26年度は松

田方面に延長し、村雨側の一部も工事を行う予定である。サンライズ東山北は、本設の工事を実施する。

### 町設置型浄化槽の今後

**岩本委員** 町設置型浄化槽事業は毎年申込み件数が減っている。維持管理だけになる見込みか。

**上下水道課長** 一般家庭の設置は、ほぼ完了しているが、事業所関係の設置が進んでいない。最終的には維持管理だけになる。

## 水道事業会計

### 皆瀬川水源の確保

**原委員** 皆瀬川水源に係る予算が計上されていない。

**上下水道課長** 皆瀬川水源の代替え井戸の試験掘削を行ったが、水量等の確保ができなかった。今後、中

本高速と協議し、補正予算で対応する。

### 給水戸数と料金見直し

**渡辺委員** 計画給水戸数が100戸減っているが、村雨地区統合との関係は。

**上下水道課長** 村雨地区の統合により8世帯が増える

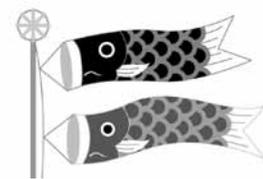
が、町の人口が減っているため給水戸数を減らした。

**熊澤委員** 使用量が減っているが、料金の値上げは。  
**上下水道課長** 運営審議会を開き、料金の見直し等の検討を行う。



村雨の貯水槽

## 福祉教育 常任委員会 審査報告



委員長	瀬戸 顯弘
副委員長	小栗 直治
委員	藤原 浩
同	石田 照子
同	佐藤 光男
同	鈴木登志子
同	池谷 莊次郎

福祉教育常任委員会では、一般会計のうち町民税務課、福祉課、保険健康課、学校教育課、生涯学習課の各所管に属する事項、および国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計を審査し、全員賛成で原案どおり了承した。

## 一般会計

### 災害時の要援護者支援

**鈴木委員** 災害時要援護者支援事業の進捗は。  
**福祉課長** 対象者は995名、うち登録者は471名で、災害時の支援につなげていく。今後も、対象者の把握、普及と啓発を行う。

### 福祉タクシーの運行

**石田委員** 福祉タクシーの実証運行の結果と本格運行の見通しは。  
**福祉課長** 実証運行を2回行い、乗降場所、時間等を見直した結果、実績は上がっている。26年度の本格運行を目指している。

### 向原保育園の整備

**藤原委員** 向原保育園屋根修繕工事の内容は。  
**福祉課長** 腐食している屋根周りと、屋根の下地の腐朽対策を行う。  
**佐藤委員** 向原保育園停車場整備工事の時期と工事中の停車場所は。  
**福祉課長** 時期は夏場の7～8月を考えている。工事期間中の車の停車場所は検討中。

## 保育士の確保

**石田委員** 保育士の確保はできていいのか。また、臨時保育士の時給は。

**福祉課長** ハローワーク等を利用して保育士を確保していく。時給は940円。

## 放課後児童クラブの指導員賃金

**鈴木委員** 放課後児童クラブ指導員の賃金を減額した理由は。また、放課後子ども教室の指導員賃金と格差はあるか。  
**福祉課長** 25年度の実績等を見込んで積算した。また、賃金格差はない。

## 町内保育所の活用

**小栗委員** 町外の施設に通所している現状があるが、町の施設で受け入れる環境作りを検討しているのか。

やまきた 議会だより

**福祉課長** 一部の方が、就労の場所と時間等の関係に

より町外施設を利用してはいる。町内外の保育所通所中の保護者にアンケートを実施し、意見集約をしている。点では予算化できない。

## 生きがい事業団の法人化

### 法人化

**池谷委員** 生きがい事業団の法人化に向けた予算と指導は。

**町長** 2年前から法人化に

向け話を詰めているが、理事、組織機構のあり方等の方向性が出ていない。現時点では予算化できない。

## ノーマライゼーション事業

### ノーマライゼーション事業

**小栗委員** ノーマライゼーション事業の助成先と目的は。

**福祉課長** 助成先はNPO



法人化を待つ事業団事務所

法人「山北なないろ」です。自立支援法に基づき、障がいを持つ子どもたちの将来の就労を考え、レストラン経営など、ノーマライゼーションの普及啓発等を行っている。

## AEDの設置計画

**石田委員** AEDの設置場所に偏りはないか。

**保険健康課長** 町内の公共施設を中心に設置している。今後の設置箇所を検討する。

## 出産祝い金

**小栗委員** 出産祝い金は今後も継続していくのか。

**町長** 人口を増やすことが目的なので継続するが、3年を目安に見直す。

## 給食費の補助金廃止

**石田委員** 給食費補助廃止に伴う、保護者への周知と給食費未納対策は。

**学校教育課長** 新入生の保護者には入学時説明会等でお知らせし、PTA役員や保護者にも周知した。滞納者には、個別折衝していく。

## 学校安全対策

**石田委員** 川村小学校の工事請負費が大幅に増加した理由は。

**学校教育課長** 防火水槽から校舎内の全消火栓までの配管を改修するため。

**藤原委員** 門扉工事の期間と、鍵の管理は。

**学校教育課長** 門扉設置は平成27年度までの計画である。鍵は、適切な運用管理をする。

## 児童生徒の援助事業

**鈴木委員** 児童生徒援助事業の対象者は。

**学校教育課長** 対象者は、準要保護児童生徒で、小学校19名、中学校19名。

## 町内交通の効率化

**小栗委員** 共和のふれあいバス、町内循環バス、スクールバス等、将来の町内交通体系の見直しは。

**町長** スクールバスは、子どもの安全を確保することが大前提である。目的が違う各交通手段は、交通弱者対策をしていく必要がある。

## 学校美化清掃の廃棄物処分

**佐藤委員** 校庭等整備委託料の内容は。また、学校の美化清掃で出た草・木等の廃棄物の処分は。

**学校教育課長** 学校周辺の草刈り・木の伐採費用。学校の美化清掃の廃棄物は、公費対応を検討する。

## 新しい幼児教育

**鈴木委員** 豊かな学びの支援推進事業とは。  
**教育長** 山北町の幼稚園・

保育園のあり方基本方針に沿ったカリキュラムづくりの研究と、幼稚園・小学校の先生の指導力向上を図る事業である。

### 教育に関わる人材確保

**藤原委員** 英語補助員、児童介助員等の人材確保は。  
**学校教育課長** A L T 派遣者は、町独自で面接し採用している。児童介助員は、学校関係者と十分な情報を共有し確保する。

### 岸幼稚園児の通園

**石田委員** 岸幼稚園児の通園バスと補助金の考えは。  
**学校教育課長** 山北幼稚園まで通園バスを運行する。バスを利用しない方には、通園補助金を支給する。

### 生涯学習センターのオープン

**池谷委員** 生涯学習センターの講師謝金と出演料は。

**生涯学習課長** サマースクール等の講師謝金と生涯学習センターオープンニング寄席への出演料である。

### 体育施設の充実

**石田委員** 川村小学校体育館のバスケットボール修繕費の内容は。  
**生涯学習課長** 大人用昇降式バスケットゴールをミニバスケット用の高さに調整する。

**瀬戸(顯)委員** パークゴルフは終日券などを検討し、集客を図る必要があるのでは。  
**生涯学習課長** 終日券の金額や年間券、月間券などを検討する。



パークゴルフ場

## 特別会計

### 国民健康保険事業

### 医療費の削減

**藤原委員** 医療費削減のための新たな取り組みは。  
**保険健康課長** 保健師による出張健康相談会を、新規事業として実施する。  
**小栗委員** レセプト点検の効果は。  
**保険健康課長** 25年度は点検により再審査を求めた結果、69万3000円の効果が得られている。

### 特定健診の受診率

**鈴木委員** 特定健康診査等事業費の減少は。また、受診率向上は。  
**保険健康課長** 国の特定健診計画の受診率に促されたため減少した。26年度は、がん検診と特定健診の合同実施により、受診率が上がる。

## 介護保険事業

### 介護予防対象の把握

**鈴木委員** 2次予防対象者把握事業は、臨時職員だけに対応していくのか。  
**保険健康課長** 26年度は、看護師を必要としない運動機能の審査を行う予定で、臨時職員で対応する。

### 特別養護老人ホームの施設運営費

**小栗委員** 介護サービス等給付費が前年比8600万円増額の要因は。また将来町が施設運営費を負担することはないか。  
**保険健康課長** 国の制度改正により、中川のバーデンライフが4月から一部地域密着型に変わるためである。町が負担をすることはない。

## 第一回臨時会

### 【新規条例】

### 中央公民館を生涯学習センターへ

**藤原委員** 新たな用途拡大等に対応するため、町長部局の所管にしたかどうか。  
**教育長** 教育委員会が所管するのが適当である。  
**鈴木委員** 適応指導教室として利用する対応は。  
**教育長** 生涯学習センターに設置することが、読書や運動等の活動範囲が広がり、より良い環境が整う。  
**石田委員** 町民の健康増進団体が利用する場合は、減免になるのか。  
**生涯学習課長** 町や教育委員会、学校等の主催は100%、後援する場合は70%、文団連の所属団体等の利用は50%の減免になる。  
**藤原委員** 会議室等の時間貸しは。  
**生涯学習課長** 時間貸しはしない。



利用しやすくなった生涯学習センター

## 議案等審議の結果

### 第 1 回定例会（3 月 4 日～ 17 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町第 5 次総合計画基本構想の策定	3月5日	原案可決 (賛成全員)	平成 25 年度山北町水道事業会計補正予算 (第 4 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)
山北町地域優良賃貸住宅整備基金に関する条例の制定	3月17日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町一般会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	3月5日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町国民健康保険事業特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町駐車場使用条例の一部改正	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町後期高齢者医療特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正	3月5日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町災害給付見舞事業特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	3月5日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町下水道事業特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町社会教育委員設置条例の一部改正	3月12日	原案可決 (賛成 11 反対 2)	平成 26 年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町教職員住宅使用条例の一部改正	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町山北財産区特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町共和財産区特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町三保財産区特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町立の小中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町介護保険事業特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
山北町立村雨給水施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町商品券特別会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
平成 25 年度山北町一般会計補正予算 (第 7 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町水道事業会計予算	3月17日	原案可決 (賛成全員)
平成 25 年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	指定管理者(非公募施設)の指定	3月12日	原案可決 (賛成全員)
平成 25 年度山北町下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	山北町副町長の選任	3月17日	同 意 (賛成全員)
平成 25 年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算 (第 2 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任	3月17日	同 意 (賛成全員)
平成 25 年度山北町山北財産区特別会計補正予算 (第 2 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	人権擁護委員の推薦	3月17日	同 意 (賛成全員)
平成 25 年度山北町共和財産区特別会計補正予算 (第 2 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	山北町教育委員会委員の選任	3月17日	同 意 (賛成全員)
平成 25 年度山北町三保財産区特別会計補正予算 (第 2 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	南足柄市山北町開成町一部事務組合議会議員の選挙	3月17日	指名推選
平成 25 年度山北町介護保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	専決処分の承認 (平成 25 年度山北町一般会計補正予算 (第 6 号))	3月5日	承 認 (賛成全員)
平成 25 年度山北町商品券特別会計補正予算 (第 2 号)	3月12日	原案可決 (賛成全員)	平成 26 年度山北町土地開発公社事業計画及び予算	—	報告のみ

### ☆賛否が分かれた議案

議 案	議員名 (議席順)												
	川村俊治	原 憲司	渡辺良孝	藤原 浩	岩本章治	石田照子	佐藤光男	熊澤友子	府川輝夫	瀬戸顯弘	小栗直治	鈴木登志子	瀬戸恵津子
山北町社会教育委員設置条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○

### 第 1 回臨時会（1 月 27 日～ 28 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町立生涯学習センター条例の制定	1月28日	原案可決 (賛成全員)	平成 25 年度町道共和清水線整備工事請負契約の変更	1月28日	原案可決 (賛成全員)
平成 25 年度町道深沢線整備工事請負契約の締結	1月28日	原案可決 (賛成全員)	平成 25 年度町道鍛冶屋敷高杉線整備工事請負契約の変更	1月28日	原案可決 (賛成全員)

※○は賛成、●は反対を表しています。池谷荘次郎議長は、採決に加わりません。

# あなたの声を町政に!!

## 一般質問

一般質問は、議員が日常活動の中で、調査・研究してまとめた自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針等を問うものです。

質問時間は、答弁を含め一人 60 分以内とし、一問一答方式で時間内であれば質問や答弁の回数に制限はありません。

議会だよりのスペースの都合で、質問と回答が要約してありますので、詳しい質問・回答の内容は、議会事務局までお問い合わせください。(☎ 75-3653)

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
12	1. 町長の町政に対する決意を問う 2. 高齢者問題に対する町の対策は 3. 第 5 次総合計画スタート元年への取り組み	瀬 戸 恵 津 子
13	高齢化社会に向けた活性化と健康づくりについて	原 憲 司
14	地域防災計画の強化推進について	小 栗 直 治
15	1. 第 5 次総合計画実現に向けての戦術は 2. 住宅政策の見直しは	渡 辺 良 孝
16	がん検診受診率向上と予防接種への取り組みは	熊 澤 友 子
17	1. ご当地ナンバープレート導入について 2. 給食の放射性物質濃度検査の早期実現について 3. 建設工事における適切な技術職員配置について	藤 原 浩
18	健康寿命への更なる延伸対策を	鈴 木 登 志 子
19	自治会に信頼される町の役割は	府 川 輝 夫

# 問 2 期目に対する決意は



瀬戸恵津子 議員

## 答 第 5 次総合計画の実現に向け全力を傾注する

町長は、町政執行の最高責任者としてその職につき、残すところ 4 か月となった。

多くの課題がある中、元気が山北町への取り組みの成果が出ているが、人口減少により税収の低迷、町債残高の増加等、行政運営にも厳しさが増している。7 月に任期満了となり、多くの町民が町長の動向に関心を寄せている。

### 問 2 期目に対する意志は。

答 平成 22 年の所信表明で元気な山北のまちづくりに取り組むと表明したが、本年 3 月までの達成率は、自己評価で全体の 64% で、まだ十分な成果が上がついていない部分もある。第 5 次総合計画の実現に向けて町政の発展のため、粉骨砕身全力を傾注していく決意である。

### 高齢者への取り組み

問 平成 37 年には高齢化率が 38% になると予測されるが、高齢者の多様な価値観に対しての取り組みは。

答 平成 26 年 2 月現在の高齢化率は、31・99% で県平均を大きく上回っている。健康や生きがいづくりとして、社会とつながりを持ちたい意欲の高い方が多くいる。

生きがい事業団等への登録を進めるとともに、高齢者の多様な雇用、就業ニーズに応じた環境整備が必要である。

### 第 5 次総合計画への取り組み

問 御殿場線の IC カード導入への進捗状況は。

答 御殿場線沿線の市町で組織する協議会では、要望活動の

ほか、JR 東海を取り込んだ共同事業を行い、多くの方が御殿場線を利用するよう誘導している。こうした活動からも IC カード導入を働きかけている。また、昨年 12 月の三県サミットでも、三県共同で JR グループに要請していくことになった。町も引き続き要望する。



IC カードが使えるといいネ

山北中学校、三保小学校の特別室に合計 9 台のエアコンを設置する。

普通教室は平成 27 年度以降、順次設置する計画である。

問 女性のまちづくりへの参画のため、女性専用人材バンクを設置したらどうか。

答 平成 24 年度の各種審議会等の登用率は 28% だが、30% をめざしているため、女性専用の人材バンクは設置しない。

※三県サミットとは・・・山梨・静岡・神奈川の三県で、富士箱根伊豆地域のさらなる活性化を目指し、より緊密な三県の連携関係を構築することを目的に開催される会議のこと。(略称「山静神サミット」)

問 小・中学校の普通教室にエアコンを設置するのか。

答 26 年度は、川村小学校と

# 問 高齢化社会に向けた活性化と健康づくりは



原 憲司 議員

## 答 森林セラピー事業などの運動機能向上の事業を実施している

当町の65歳以上の高齢者人口は、1月1日現在、3658人で全体の31・84%だが、第5次総合計画の平成35年の高齢者目標人口は、4191人で全体の38・1%である。

県では、超高齢化社会に向け「未病を治す」をキーワードに食のあり方や運動・休養などを見直し、健康長寿の社会づくりに取り組む計画である。

そこで、高齢化社会に向け、魅力ある地域資源や食を活かした町の活性化と、高齢者が生き生きと安心して暮らせるための健康づくりについて伺う。

**問** 森林セラピー事業で健康づくりとふれあいの場づくりによる町の活性化を。

**答** 参加費を軽減し、多くの参加を募り、参加者同士のふれあいと健康づくりで町の活性化に努める。



健康づくりに参加

**問** 新たな「山北ブランド食」の開発で活性化を。

**答** 関係団体と連携して開発を行い、ホームページ等でPRし、活性化を図る。

**問** 新たな運動メニューと健康食による健康づくりを。

**答** 健康ウォーキングなど健康づくり事業を実施する中で健康食と併せた事業を検討する。

**問** 健康長寿のまちづくり計画を策定し、新しい取り組みを。

**答** 健康増進・食育推進計画に位置付けたので、策定しない。

**問** 県の「未病を治す」に対する意見募集に、町民から大野山牧場を鹿牧場や薬草園などに変え、鹿肉や鹿角の漢方薬・薬草を販売したらどうかと提案があったが、町の県への対応は。また、大野山牧場廃止案への対応は。

**答** 町は、大野山牧場の活用として、県営薬草園の運営、獣害対策として鹿角の漢方薬の製造・販売ルートの確立、イチヨウ等の薬用樹木の研究・植栽の推進の3点を未病対策として県に提案する。

大野山は重要な観光資源なの

で、強い姿勢で県に要望する。

**問** 国は農作物被害が深刻化していることを受け、鳥獣保護法を改正する。駆除等で捕獲した鹿等の肉加工施設を整備し、特産品として販売や料理提供等で町の活性化を。

**答** 加工施設整備は財政状況から難しい。県等に加工施設や鹿肉販売ができる環境の整備を積極的に要望する。



まだまだ若者には 負けないよ

# 問 地域防災計画を町民 1 人 1 人が理解し訓練を



小栗直治 議員

## 答 防災ハンドブックで周知理解を図る

平成25年3月に山北町防災会議が、災害に強いまちづくりを目指し「山北町地域防災計画」の全面見直しをした。

その中で新たな強化策や行動ルールなど、どのように町民に周知・指導したのか伺う。

**問** 計画が見直されて一年になる。町民に対する防災強化の対応は。

**答** 自らの身は自ら守り、地域でできることは地域で行うことなので、自治会が必要とする防災資機材の助成をしている。

**問** 日ごろの訓練が減災につながるように町民周知を行ったか。

**答** 地域防災計画の内容を誰にでもわかりやすく、理解できるように防災ハンドブックを

り、3月中に全戸配布する。

### 消防団員の確保

**問** 少子高齢化が進み、消防団員の確保に各分団は大変苦労している。消防団OBの支援をお願いし、組織強化の検討をしたのか。

**答** 消防団OBが指揮命令系統や範囲外の活動、さらに責任能力などから直接町分団活動に参加するのは難しい。しかし、OBの経験を生かし自主防災組織のリーダーとして支援をお願いする。

### 町内企業従業員の協力

**問** 昼間の災害時は、勤務地の関係から団員はほとんど町内にはいない。町内企業に勤務している従業員に支援を依頼できないか。

**答** 町内企業で消防計画を作り、日ごろ訓練している事務所は94社ある。町消防団組織活動に直接参加することは難しいため、山北在住の従業員に消防団への加入依頼をしていく。また有事の際には、企業消防が町消防活動に参加できるように働きかける。



企業の協力を待つ詰所

### 防災中継局の整備

**問** 町の防災行政無線はデジタル化され、役場から大

野山山頂の中継局を通して町内各地に放送されている。大野山中継局が被害を受けた場合、町内放送は完全に出来ない。予備局を作ることで防災強化につながるが、将来計画に取り入れるのか。

**答** 中継局を作るのにおよそ一億円が必要となるため、現状では予備局の設置は難しい。緊急時には広報車や消防車等で情報提供する。



大野山の中継所

# 問 第 5 次総合計画推進の戦術は

## 答 重点プロジェクト体制で臨む



渡辺良孝 議員

町長は、平成 26 年度を初年度とする向こう 10 年の第 5 次総合計画を策定した。

当町は土地基盤整備や幹線道路計画など、国・県への要望により推進すべき事業が多くある、そこで質問する。

**問** 向こう 10 年先に向けて布石を打つべき今、町民からの付託に応えるため、総合計画実現に向けてどのような戦術で臨むのか。

**答** 第 5 次総合計画は、町の最上位計画で、本町の特徴を全面的に出したものと自負している。計画実現には、政策・施策・事務事業に優先順位を付け、「選択と集中」により、自らのリーダーシップのもと、重要課題に向け重点プロジェクトも設けている。

**問** 今後、国・県等へどのようにアピールし要望していくのか。

**答** 10 年先を見据えた長期的な視野で、近隣自治体との連携を図り、国・県等へ要望する中で「まちづくり」の将来像に向けて、自ら先頭に立ち最大限の覚悟で臨む。



まちづくりが期待される東山北地区

**答** 土地政策は町づくりの基本であるため、第 2 次計画と同様に三保・清水・共和・山北地域等の 5 つのエリアに分けて、地域の重点施策を定めた計画を策定する。

**問** 2 月に開通した清水やまなみ橋は、新東名高速道路スマート IC を含め、幹線道路計画のスポット的位置にある。

富士箱根伊豆交流圏市町村サミットの道路計画による（仮）小田原甲府線の実施計画は。

**答** （仮）小田原甲府線計画は、まだ構想の段階である。山北町第 5 次総合計画には、広域幹線道路として位置づけており、27 年度が総合計画の見直し時期である道志村には、その旨を伝えてある。

### 子育て向け住宅増える…

**問** 山北駅北側へ定住促進住宅が完成し、サンライズ東山北と合わせて 67 戸になった。少子高齢化の時代を迎え、これからの町づくりにおける町営住宅のあり方は。

**答** 若年世帯向けの優良な、定住促進住宅を効果的に導入し、民間活力による時代にマッチした手法で施策を推進する。



待望の子育て向け住宅

**問** 26 年度に見直す第 3 次土地利用計画の策定内容は。

# 問 がん検診受診率向上への取り組みは



熊澤友子 議員

## 答 受診勧奨を継続して行う

女性特有のがん検診は、平成21年度から25年度までの5か年間で、子宮頸がん・乳がん検診対象者に無料クーポン券を配布し、その結果、受診率を上げることができた。

これを受け、国は平成25年度補正予算に、がん検診個別受診勧奨制度（コール・リコール）を取り入れたが、町の取り組みを伺う。

**問** がん検診の大切さを知っていたり、掲載し、この制度の対象者には、通知をきめ細かに行うか。

**答** がん検診の大切さはホームページなどで周知していく。女性特有のがん検診は、2年に1回の受診なので、この受診勧奨は継続して行う。

**問** 本町では平成25年度から胃がんリスク検診を導入したが、受診方法や効果を理解して、受診していただけるようチラシ等を全戸配布するとともに、対象年齢を引き下げはどうか。

**答** 広報の特集記事に掲載し、「健康診査・がん検診を受けてみよう」のチラシを全戸配布した。今後も、その他のがん

### 胃がんリスク検診

**健康診査・がん検診を受けましょう！！**  
町では、健康診査と各種がん検診を行っています。ご自身の健康状態のチェック、また、がんの早期発見のためにも、健康診査、がん検診を受けましょう。

検診名	内容	対象者	自己負担金	実施日(期間)	会場 受付時間
大腸がん	便潜血検査		600円		
肺がん	レントゲン 直接撮影 ※必要者の方に喀痰検査	40歳以上	レントゲン 300円 喀痰検査 600円	9月25日(木) 26日(金) 27日(土) 28日(日) 29日(月) 30日(火) 10月1日(水) 2日(木)	健康福祉 センター ※9月25日は 清水ふれあい センター 受付8:30~ 11:00
胃がん	レントゲン間接撮影 (バリウム)	40歳以上 ※胃がん検診(バリウム)は 胃がんリスク検査のどちら かを選択 ※胃がんリスク検査は5年 ごとの受診	1,000円		
胃がん リスク検査	血液検査		1,400円		
前立腺 がん検査	血液検査	50歳以上男性	500円		
肝炎検査	血液検査 B型肝炎ウイルス検査 C型肝炎ウイルス検査	40歳~65歳 ※過去3回検査を受けたこ とのない方	700円		
さくら 健康診査	問診・診察・身体計測・尿検 査・血圧・血液検査	30歳~39歳	700円		
特定 健康診査	問診・診察・身体計測・尿検 査・血圧・血液検査・心電図 眼底検査(施設)	40歳~74歳 ※国民健康保険に加入さ れている方	1,000円		
後期高齢者 医療保険制度 による健康診査 (施設)	問診・診察・身体計測・尿検 査・血圧・血液検査・心電図等	75歳以上の方と 65歳~74歳で後期高 齢者医療保険に加入 されている方	無 料	8月~3月	足柄上医師会 健診実施 医療機関
結核検診	レントゲン間接撮影	65歳以上	無 料	10月30日(木) 31日(金)	町内各所 ※お知らせで届出 します

◎年齢は、平成27年3月31日現在(特定健診を除く)  
※70歳以上の方(マンモグラフィ・特定健診を除く)、65歳以上で身体障害者手帳、2級をお持ちの方、  
生活保護・福祉手当世帯の方は、自己負担が免除されます。また、大腸がん検診、乳・子宮がん検診、  
肝炎ウイルス検査の特定年齢の方は、自己負担が無料になります。

**【受診票の送付について】**  
受診票は、前年(乳・子宮がん検診は前々年)に受診された方、事前に申込みをされた方にお送りします。  
そのため、「検診・検査を初めて受ける方」、「詳細は受診しなかった方(乳・子宮がんは2年のため2年分)」、  
「検診の追加をしたい」などは、必ず事前に「保険診療課 健康づくりの課」にお申込みください。  
また、乳がん・子宮がんを「医療機関」で受診される方も、申し込みが必要です。

申込み・問合せ：保険診療課 ☎75-0822 または 75-3642  
乳・子宮がん、人間ドック、申込書は裏面です ➡

**問** 国は、成人用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に加え、平成26年10月より実施するが、町は4月から実施すべきではないか。

**答** 国は、成人用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に加え、平成26年10月より実施するが、町は4月から実施すべきではないか。

**問** 国は、成人用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に加え、平成26年10月より実施するが、町は4月から実施すべきではないか。

検診も合わせて受診率向上につながるよう広報、啓発活動に努める。

胃がん検診の対象年齢は、国の基準で40歳となっているので、引き下げは行わない。

**予防接種**



ワクチン接種でひと安心

**答** 肺炎球菌ワクチンは75歳以上を対象に、平成26年4月から任意接種として公費助成を開始する。

また10月からは、65歳・70歳も追加し、定期予防接種となる。公費助成は5000円を予定しており、自己負担は3000円となる。

※がん検診個別受診勧奨制度(コール・リコール)とは、電話や手紙などによる個別受診勧奨と再勧奨を実施することと、無料クーポン券を一部発行し、検診費用の助成を行うもの。

# 問 建築工事技術職員配置の考えは



藤原 浩 議員

## 答 今のところ配置する予定はない

今後建築関連の工事が増える  
と予想される中、町に技術職が  
不在である。適正な業務執行に  
加え施工品質確保のため、技術  
職員配備が必要である。

また、町の活性化と子どもの  
安全を考え以下の3点について  
質問する。

### 長期的視点に基づいた

#### 建築技術職員配置

**問** 建築技術職員不在の中、要求は高くなっていく。長期的な視点で、専門的な知識を持った職員の配置に取り組む必要がある。

**答** 建築工事は経常的にはないが、財政的に可能であればそうしたい。現在、同じ悩みを抱える2市8町共同で取り組むことができるかどうか検討に入っている。



職員による建物検査

### ご当地ナンバーの導入

**問** ご当地ナンバー導入は直接的な効果はもとより、内外に、山北は面白い取り組みをしているとアピール出来る。高額な予算をかけず、町の活性化につながる。

**答** ご当地ナンバーは、導入している自治体でも、デザインなどが、万人に望まれるものとなりにくいこともあり、なるべくお金のからない方法で、町民から「町は変わったな」と感

じてもらえる方法を検討する。



松田町のご当地ナンバー

### 給食の放射性物質

#### 濃度検査の早期実施

**問** 子どもの将来の健康リスクを防ぐため、放射性物質濃度検査を早期に実施すべきでは。

**答** 町内小・中学校の給食は、国の定める各基準に基づいて実施している。食材は、厚生労働省の基準に基づいて検査し、流通しているものを購入しているので、安全である。

このため、現在は検査実施の予定はない。

**問** 市場に流通している食材は安全であるとのことだが、検査を実施している自治体では、放射性物質検出の事例がある。市場に流通している食材だから安全かどうかというのは、乱暴ではないか。

**答** 現在検査を行っている自治体でも検査の回数等が減ってきている。また、各学校の学校給食運営協議会でも不安の声はあがっていない。現段階では、検査の必要はない。



安心して食べられる給食

# 健康寿命への更なる延伸対策を



鈴木登志子 議員

## 関係機関と連携し対策を進めていく

超高齢化の現状の中、健康寿命を延ばすためには、健康増進は喫緊の課題ととらえ何う。

**問** 平成23年度に「健康増進計画」が策定されている。3年経過した状況と成果は。

**答** 特に、がん検診は土・日曜日を含め、就労している方にも受診しやすい日程にした。

胃がんリスク検査・前立腺がん検査を新たに導入し、受診率が向上した。その他の分野でも目標が達成できるよう取り組んでいる。

**問** 健康づくりポイント事業の効果は。

**答** 運動習慣を継続させる目的の事業だが、続けているのは毎年20〜30人で、なかなか実績が上がらないのが現状である。

**問** 町では、色々な予防事業や健康づくり事業を行っているが、町民に周知がされていないため、健康づくりなどに反映されていないのはなぜか。

**答** 生活習慣等の違いから、高齢者一人ひとりにあった健康づくりが難しい状況である。さまざまな取り組みを行い、究極的には、健康で最期まで暮らせるよう、さらに力を入れる。



健康づくりに一生懸命

**問** 町オリジナルの「健康体操」を作り、運動推進につなげてはどうか。

**答** 町のオリジナルではないが、健康普及員が高齢者を対象とした「長生きサンバ」を地域の行事等で紹介する活動を始めた。その普及状況を見ながら、検討する。

**問** 65歳以上の1/4が認知症とされ、年々増え続けているが、町の状況と支援体制は。

**答** 平成25年9月現在、介護認定者総数525人のうち、軽度者も含め認知症状のある方は390人である。  
認知症は把握方法・手段が難しいので、すべてを把握できていない。



ロコモ体操 はい、ポーズ!

支援体制は、認知症が疑われる方を早期に把握することが重要で、26年度より地域包括支援センターを中心とした、見守りネットワークづくりに取り組む。  
認知症支援体制づくりの強化が急務であり、関係機関と連携した体制づくりの構築を図る。

# 問 自治会に信頼される町の役割りは



府川輝夫 議員

## 答 情報を的確に発信し説明する

自治会役員は、説明責任の軽視など町の姿勢に対し、疑義を抱いている。

一つは、防犯灯管理を民間に委託する事業の突発的な計画と一転しての事業延期である。

二つには、企業主催の植樹祭に自治会役員がボランティア参加する必要性である。

そこで、自治会と町の信頼関係の再構築に向け質問する。

### 防犯灯LEDの民間委託

**問** 事業計画は慎重に進めるべきでは。

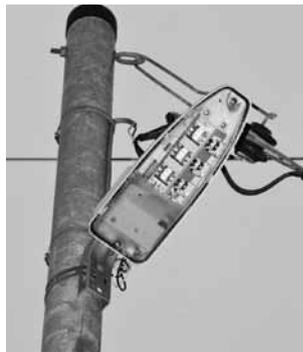
**答** 時間がなく説明が不足したことを反省している。今後は、慎重に計画を進める。

**問** 自治会が気持ちよく活動できる関係づくりを。

**答** 自治会の協力がなければ実施できない事業なので、連絡を密にし、協力関係を築く。

**問** 町内の電気事業者の活用が必要では。

**答** 自治会と町内事業者の理解を得る中で、公募のプロポーザル方式（委託先の選定）の募集は、町内事業者の活用を条件とし、地域への波及効果を高める。



省エネで明るいLED

### 企業植樹祭の自治会役割

を教訓に協力関係を検証すべきでは。

**答** 植樹祭の開催まで時間がなく、丸山に隣接する3地区の連合自治会長にお願いした。

周辺地域と企業が互いに協力し、理解する関係を築くことは大切である。

しかし、植樹祭の方法など事前に説明できず、参加した自治会役員へは迷惑をかけた。今後は、自治会との信頼関係・協力関係を継続して築く。

**問** 町職員の参加は適切であったのか。また、今後の対応は。

**答** 地球温暖化防止実行計画による森林整備の一環として参加した。

また、第2回目の植樹祭は、やまきた健康スポーツ大会実施日であり、企業が主体となり、

ボランティアでの参加になる。



この1本1本が温暖化を防ぐ

### 自治会との情報伝達の整備

**問** 自治会の役員は2年ごとに替わる。災害の規模、事業内容、自治会の対応度、緊急性等に応じ、町と自治会との情報伝達の仕組みを整備すべきでは。

**答** 情報を的確に発信し説明することは大切であり、情報伝達体制をさらに良くする。

**問** 自治会の参加要請は適切であるのか。また、これ

# 活きいきひろば

## 楽しく子育て

今村 英梨奈 さん



子育てサークル「元気っ子クラブ」は発足して23年を迎えました。

元気っ子クラブは、「育児を通して仲間作りをしましょう！」を合言葉に、0歳から未就園児とそのお母さんが対象で、月1回おもに健康福祉センターで活動を行っているサークルです。まだ出来ることが限られた年齢の子どもたちですが、楽しく時間が過ごせるようにと毎回工夫を凝らした手作りイベントを用意しています。

子どもの成長には、お友達との存在は欠かせないものだと思います。お母さんたちも仲間を作ることによって、日々の小さな不安や悩みを解消できると感じています。



みんな集まれ 記念撮影



おでかけ 中井町中央公園

# 議会の傍聴においでください

第2回定例会(予定)

6月3日(火)~



庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 75-3653

●議会ホームページ●

<http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>

# 議会活動予定

5月

1 第2回臨時会

県西部広域消防運営協議会

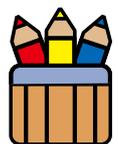
議会運営委員会

27 23 21 原町村議会議長・副議長研修会

6月

3 第2回定例会・本会議

## 編集後記



うすピンク色の花をつけた桜の木々が、新しい旅立ちに華やかさを添える中で、清水小学校の最後の入学式と新制山北中学校の開校式・入学式が執り行われました。岸幼稚園は、園舎建て替えにより、山北幼稚園を間借りしての合同入園式をおこないました。

3月議会は、一般家庭で例えると、一年間の収入を無駄の無い使いみちを話し合うように、町の重要な予算を決める議会であり、審議内容は、26年度の予算と第5次総合計画基本構想の審議や、副町長の承認などであり、未来の町づくりに重要な案件が審議され、可決されました。

広報委員会では、町民の皆様へ、より興味を持っていただけるよう、読む紙面から見る紙面の編集に、委員一同が一丸となって取り組んでいます。今後も見やすい紙面づくりにまい進してまいりますので、皆様のご意見、ご感想などをお寄せください。



広報分科会

会長 原 憲司  
副会長 鈴木登志子  
委員 渡辺良孝

石田照子  
熊澤友子  
小栗直治